

課題番号：5

テーマ名称：農産物の加工・保存・輸送技術

1. 主な対象国・地域	アフリカ地域（特に IFNA ¹ 重点国：ブルキナファソ、エチオピア、ガーナ、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ナイジェリア、セネガル、スーダン）
2. 分野	農業、食料・栄養
3. 関係する SDGs ターゲット	ゴール 2 飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。 ターゲット 2.2 5 歳未満の子どもの発育障害や衰弱について国際的に合意されたターゲットを 2025 年までに達成するなど、2030 年までにあらゆる形態の栄養失調を撲滅し、若年女子、妊婦・授乳婦、および高齢者の栄養ニーズへの対応を行う。
4. 対象国・地域の当該分野の全般的な現状	サブサハラアフリカ地域では栄養不良が深刻な課題となっており、慢性的な栄養不良を示す Stunting ² の割合は 34.2%と、世界平均の 22.9%を大きく下回っている。JICA は IFNA の枠組みのもと、マルチセクターの中でも特に農業セクターで取り得る効果的な介入策により、栄養改善事業のインパクトを増大することを目指し協力を進めている。また、アフリカにおける農業セクターは、農産物の流通、加工、販売等、その関連産業も含め、地域経済の根幹を成す主要産業である。JICA は栄養価の高い農産物やその加工商品を生み出して付加価値を高める「栄養の観点から見たフードバリューチェーン」の構築について、官民連携による取り組みを強化している。
5. 解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバリューチェーンが脆弱でロスが多い ・加工含むポストハーベスト技術が低く、食料摂取が生産の季節性に大きく影響を受ける
6. 上記をとりまく状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバリューチェーンが脆弱なため、特に生鮮食品の輸送に伴う腐敗や破損、汚損、有毒化による廃棄が多く、収穫後の食料が効率よく消費されない。 ・ポストハーベスト技術が未熟なため、収穫した食料の貯蔵性、輸

¹ Initiative for Food and Nutrition Security in Africa（食と栄養のアフリカ・イニシアチブ）：ドナー、国際機関、NGO、民間企業が協働して、実践的な栄養改善プロジェクトを進めていくことを掲げたイニシアティブ

² 成長障害：慢性栄養不良の状態を測る指標

	送性を十分に高められず、食料の摂取/消費が生産の季節性に大きく影響される。
7. 活用が想定される技術・製品・ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードロジスティクス、コールドバリューチェーンの改善 ・ 食品加工技術の導入（乾燥、製粉、搾汁、発酵等） ・ 保管倉庫、輸送用資材、包装容器等、貯蔵・輸送技術の改善
8. 主要関連政府機関・ステークホルダー	運輸省、産業省、農業省、WFP（国連食糧計画）、現地食品企業
9. 当該国・課題に対する日本政府・JICAの方針・戦略、関係するODA事業、他ドナー情報	<p>JICAは2016年8月にナイロビで行われたTICADVIで「アフリカ開発のための新パートナーシップ」（NEPAD）をはじめとする国際機関とともに「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ」（Initiative for Food and Nutrition Security in Africa：IFNA）を立ち上げた。IFNAは、農業・食料の側面からの介入を重視し栄養改善を促進するものである。</p> <p>http://www.ifna.africa/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ各国に対する事業展開計画 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/index.html#section1 ・ JICAの栄養改善の取組 https://www.jica.go.jp/activities/issues/nutrition/approach.html ・ JICA開発途上国課題発信セミナー 農業 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/news/ku57pq00002jdrb9-att/20190313_03.pdf ・ JICA農業・農村開発に関するポジションペーパー https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/ku57pq00002cubgq-att/position_paper_agricul.pdf ・ SDGポジションペーパー ゴール2 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/ku57pq00002e2b2a-att/goal02_j.pdf
10. 留意点・リスク	・ 栄養教育および栄養価の高い食品の需要喚起を同時に行うことができれば、栄養改善の効果を高めることが可能。
11. 参考情報	<p><i>Nutrition-sensitive agriculture and systems in practice</i></p> <p>http://www.fao.org/3/a-i7848e.pdf</p>

※科学技術イノベーション（STI）を含む新しい技術の活用の積極的な提案を期待しています。

【STI（Science, Technology and Innovation）】

科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、

それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新。アフリカでは、モバイル技術等を活用した革新的なサービスも急速に普及してきており、課題解決及びSDGs達成のツールとしてSTIの活用が期待されています。革新的な技術により、これまで開発の成果が届かなかった人、場所に開発の成果を届けることができたり、革新的な効率化や質の向上を図り、時間的、費用的にコストを大幅に引き下げるなどの効果が見込まれます。